

## 沼津市総合計画審議会 第2回快適・安心部会 会議の概要

日時：令和元年11月5日(火) 10:00～12:00

場所：沼津市水道部庁舎 3階会議室

資料：次第、資料1-1、1-2

### 1 開会

### 2 沼津市総合計画基本構想（案）について：審議

はじめに、事務局より、前回審議したまちづくりの柱2「ヒト中心で都市的魅力にあふれるまち」における意見のまとめについて説明。その後、まちづくりの柱7「安全・安心のまち」、柱8「持続可能で環境と共生するまち」の審議を始めた。

#### まちづくりの柱7「安全・安心のまち」について審議。

事務局より、柱の内容を説明。

#### リード文

委員) 大規模災害時では、市だけでは対応できないことが多いため、国や県など関係機関との連携が非常に重要になってくる。①の項目の中にも連携について書いてあるが、リード文のなかにも、関係機関との連携に関する文言を入れた方が良いのではないか。

事務局) 委員がおっしゃるとおり、災害時における関係機関との連携は重要である。文言等については、検討する。

#### ①災害に強いまちづくり

委員) 集中豪雨について記載があるが、最近の気候変動を考えると、風の被害対策についても書いておくべきではないか。具体的には、「気候変動の影響等による台風や集中豪雨等を踏まえた治水・治山・強風対策など」にしたらどうか。

事務局) 近年は、ゲリラ豪雨や前線による集中豪雨被害が多発しているため、集中豪雨の記載とした。文言については検討する。

委員) 文章内に固有名詞が入っており、具体すぎると感じている。また、この先10年を見据えると、様々な災害が起こる可能性があると思うので、網羅できるようなフレーズがいいと思う。

事務局) 例えば「自然災害への対策など」のような広い意味にした方がよいか。

委員) そのような意味合いで検討願いたい。

委員) 「気候変動の影響等による台風や集中豪雨等を踏まえた治水・治山・強風対策などの災害対策に努めます。」のように、限定的ではなく幅を持たせて書いてもいいと思う。

委員) 駿東伊豆消防組合を特別出した理由はなにかあるか。

事務局) 駿東伊豆消防組合は、沼津市消防本部が含まれており、一番繋がりが深い関係機関であるため記載した。ただ、委員ご指摘のとおり、具体的な固有名詞のため削除し、「関係機関との円滑な連携」にしたいと思う。

## ②強靱な地域づくり

委員) 「また、災害への対応力のあるまちを構築」とあるが、まちを構築では少し言い過ぎな感じがあるので、「災害への対応力を強化するため」とした方がいいのではないかと思う。また、耐震化の話では、公共施設がフレーズとして出ているが、耐震が終わっていない施設があるのか。

事務局) 公共施設について、耐震が完了していない施設があり市として対応していかなくてはならないため記載した。また、「災害への対応力を強化するため」への修正については検討する。

## ③自主防災力の向上

委員) 防災教育のようなソフト事業については、もっと力をいれて行き、人的被害を最小限にしないといけないと思う。「防災教育の推進」をより強い表現にしたらどうか。

事務局) 検討する。

委員) 災害への準備段階で、項目①、②、③があるかと思うが、最近では、想定外の災害が起こっていると思うので、被災後の迅速な復旧に対する意味合いを入れたれた方がよいのではないか。

委員) 復旧に対する文言を入れるとすると、例えば、「直近の自然災害等からの知見を反映した防災・減災・復旧対策を推進する」とするのはどうか。

委員) 基本構想だと「民間事業者のBCP対策」は具体的すぎる。

事務局) 修正を検討する。

委員) 災害時には医療機関との連携も重要だと思うので、どこかに読み取れるような文言があればと思う。

事務局) 検討する。

## ④市民の安全・安心の確保

委員) 「市内における犯罪」とあるが、「市内における」はなくてもよいのでは。消費トラブルにおいては、防止だけではなくトラブルに巻き込まれてしまった人へのサポートも必要なので、「消費生活におけるトラブル等の対策」若しくは、特に未然防止を強く言いたいのであれば「消費生活におけるトラブルの防止対策等」ではどうか。

事務局) 検討する。

委員) 感染症についての記載があるが、熱中症も近年クローズアップされているので記

載について検討したらどうか。  
事務局) 検討する。

### **⑤安全で快適な交通社会**

委員) 高齢運転者の交通事故はどのように防止するのか、また、利用環境の整備はどのようなものがあるのか。

事務局) 運転講習などの交通事故防止対策やバス待ち環境の改善などの利用環境の整備があると思うが、具体的な記載に関しては、基本計画での検討になる。

**まちづくりの柱8「持続可能で環境と共生するまち」について審議。**  
事務局より、柱の内容を説明。

### **リード文**

特になし

### **①自然共生型のまちづくり**

委員) 「かけがえのない自然環境」だと漠然としているため、沼津市には特有の自然環境があるので、「本市特有の自然環境」にした方がよい。

### **②環境への負荷の低減**

委員) 柱8の項目の順番については、なにか意図があるのか。普通は、環境、資源循環、自然共生型、水資源という順番である。

事務局) 4次総では、環境に配慮するというを進めているが、5次総では、環境のために行動するというを盛り込みたいと考えているため、1番目に自然共生の項目がある。委員のご指摘を受けたので、順番については検討する。

委員) 二酸化炭素の排出量では、事業活動が一番排出しているので、はじめに記載(追記)した方がいいと思う。「地球環境への負荷軽減を図るため、環境に配慮した事業活動の推進に努めます。また、公共交通や自転車など、環境に優しい交通手段の利用促進に努め、省エネに配慮した・・・」のような書き方が良いのではないかとと思う。

### **③良質な水資源の確保と安定供給**

委員) 文章に対して、表題の内容が狭い印象を受ける。また、水資源の安定確保については、第4次総合計画では、安全安心の分野で書かれていたと思うが、今回の計画では、環境分野にまとめた理由はあるか。

事務局) 水資源については重要な資源であり、確実に継承するという意味合いを強く持っているので、環境分野に掲げている。

委員) 環境分野で水資源を書くのであれば、水循環というキーワードで書くことが多

い。表題は、例えば、「良質な水資源の確保と水循環」ではどうか。また、もう少し環境のことも書かないと、事業の話になってしまう。どちらかという、アセットマネジメントに近い話になっており、柱8に馴染まない感じがする。水質保全、水循環というところを前面に出して書いた方がよい。

#### **④資源循環型のまちづくり**

委員)「ごみの焼却時に発生する余熱の有効利用を図るなど、新しい技術を活用した」とあるが、燃やさないごみ処理など様々な処理方法があるので、幅を持たず意味合いで、余熱の有効利用まで書かなくてもよいのではないか。

#### **全体を通して**

委員) ①の文章のなかの「環境学習などを通じて～人材の育成を図ります」については、項目を一つ作るか、環境分野の全体にかかってくるためリード文にあった方がよいと思う。

事務局) 検討する。

委員) ①の文章に「地域資源として活用する」という表現があるが、観光資源としての活用のように感じるため、少し表現を検討したらどうか。

事務局) 表現を検討する。

### **3 その他**

事務局より、日程の確認等を説明。

### **4 閉会**